

留萌市では、国が2050年までに二酸化炭素(CO2)をはじめとする温室効果ガスの排出を全体としてゼロにするカーボンニュートラルを目指すことを提言している中、当地区においても「ブルーカーボン」によるCO2吸収源対策、さらには水産業振興策両面での推進に向けた実証試験を行い、将来、事業化による地区における環境対策につなげ、更には、経済対策に寄与するよう取り組みを進める。

【R5年度】

取組内容

- ▶海藻(草)類種苗生産
- ▶養殖試験/追跡調査
- ▶CO2吸収等定量調査
- ▶ウニ類生息状況調査
- ▶天然藻場状況調査



リシリコンブ生育状況(R4. 12. 23)

実施時期 R5.4~R6.3
 実施場所 留萌沿岸域 三泊蓄養施設
 実施主体 留萌市
 予算要求額 3,608千円
 財源 北海道地域づくり総合交付金(1/2)

脱炭素への効果が期待される留萌海域に自生する海藻(草)



ワカメ



リシリコンブ



チヂミコンブ



スガモ

